

令和5年度
川崎市総合福祉センター
指定管理事業報告書（概要版）

令和6年5月

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

目 次

1	はじめに	1
2	管理業務の実施状況	
(1)	地域福祉情報バンク事業について	3
(2)	社会福祉研修センター事業について	6
(3)	施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について	7
(4)	ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について	7
(5)	事業の周知方法について	7
(6)	施設及び設備の維持・管理について	8
(7)	管理経費の縮減に対する取り組みについて	10
(8)	個人情報の取り扱いについて	10
(9)	安全管理への取り組みについて	11
(10)	利用者からの意見・要望等への対応について	11
3	収支状況	
	川崎市総合福祉センター収支状況	13
4	まとめ	14
5	資料	
(1)	地域福祉情報バンク事業資料（資料1）	16
(2)	社会福祉研修センター事業資料（資料2）	19
(3)	施設・設備の利用提供事業資料（資料3）	22

1 はじめに ～三つの指定管理事業～

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会（「以下「本会」）では、川崎市総合福祉センター条例等に基づき、令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、指定管理者として川崎市総合福祉センター（以下「センター」）の管理運営を行いました。

大規模修繕工事が行われる中であっても、第1・2・3会議室、和室を利用される方々への安全で快適な利用を最優先にした運営管理に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症5類移行後においても、本会としては、これまで取り組んできた「地域共生社会」の実現、「地域包括ケアシステム」の構築、「防災と災害支援」に引き続き取り組むため、財政の健全化を図りつつ、全市レベルの視点でガバナンスを確保しながら地域の特性に応じた地域福祉の推進をより柔軟かつ機動的に行っております。指定管理事業におきましてもこのような改革の中、令和5年度は、これまでの経験を活かし、川崎市総合福祉センターの指定管理事業の一層の充実と感染予防対策を徹底した、より安全で利用しやすい施設の管理運営を目指して、次の三つの指定管理事業に取り組みました。

(1) 「地域福祉情報バンク事業」では、ア 情報の収集及び提供事業、イ 福祉相談事業の2本の柱を中心とした事業を実施しました。

ア 情報の収集及び提供事業については、地域福祉情報バンク用データベース「かわさき福祉情報サイトふくみみ」を構築し、行政や民間の福祉関係機関から収集した各種福祉制度やサービス情報、地域のインフォーマル情報等様々な福祉情報を収集、データベース化し、市民の方が自分のニーズに合った地域福祉情報を取り出せるよう管理・運営を行いました。また、「ホスピタリティ」「毒親・教育虐待」「グリーンケア」「ビジネスケアラー」など最新の福祉に関する図書、DVD等の媒体を収集し、市民に提供しました。

イ 福祉相談事業については、総合的な福祉の相談「ふくし相談」に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じつつ、その中でも高い専門性が要求される相談については、精神科医師・弁護士・臨床心理士による「専門相談」につなぎ、きめ細やかな相談対応を実践しました。また、「総合相談支援システム」を運用し、相談内容のデータベース化を行うことで、相談対応の効率的かつ効果的な実施と適切な情報管理、事務処理を行いました。

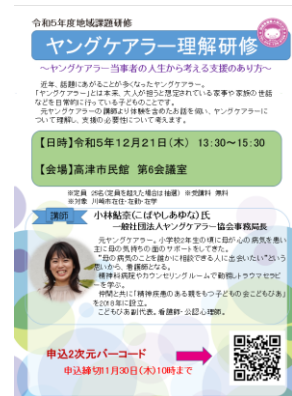
(2) 「社会福祉研修センター事業」については、昨年度に引続きコロナ感染予防対策を図りつつ柔軟な開催方法を選択し実施しました。地域包括ケア推進を目的に①地域包括ケア推進研修②地域課題研修③地域活動促進研修を27回実施しました。

地域包括ケア推進研修は、互いに関心を持ち合い、多様性を知り理解する目的で「保護司の活動を理解する」「ストレスマネジメント」「今から始める終活（遺言書作り、生前整理・遺品整理）」「発達障害の息子を育てながら」「インターネット・スマホ・ゲームとの上手な付き合い方」を実施しました。

地域課題研修は、地域の課題に気づく意識、地域の中でつながりを持つ目的で「認知症サ

ポーター養成」「認知症ケア」「ドローン体験交流会」「ゲートキーパー」「こどもが地域社会で育まれるために（川崎市における家庭支援の取り組み）」「ヤングケアラーを理解する」「ジェンダーを理解する」を実施しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化、活動を広げる目的で「オンライン初歩」「よしもとスポーツ：Let'sレクリエーション」「スマホ活用で健康寿命を延ばす！」「初心者向けスマホ活用」「オンライン企画」「はじめての動画編集」を実施しました。



(3)「施設・設備の利用提供事業」については、大規模修繕工事が行われている中での会館運営のため、利用者への安全を最優先として、安全な運用を図るため、各種工事業者への指導の徹底に努めました。具体的には、毎月の定例会において行政所管課・設計事務所・工事業者・当館職員による連絡会議を開催し、工事の進捗状況の確認、伝達事項、安全管理の徹底など情報共有を図るとともに、会館利用者へは、最新の工事の進捗状況を迅速に伝達するなど、安全に配慮した運用を行いました。

新型コロナウイルス感染症5類移行後においても、各会議室・和室の利用に向けて、感染予防対策を徹底するため、手指消毒剤、サーマルカメラの1階・3階の出入口への設置、1階事務室内のホール打合せコーナー横の高性能空気清浄機・加熱気化式加湿器の設置を継続して行い、館内の衛生環境の改善に取り組みました。

また、センター条例及び施行規則等に基づき公平な利用提供を行い、利用者にとって使いやすい施設となるよう状況に応じて柔軟な管理運営を心がけ、利用者の要望の把握と改善に努めることにより、施設の利用促進を図りました。

センターの安全性と快適性、衛生環境の向上を図るため、経年により故障や劣化した設備等の修繕については、優先順位を検討する中で実施しました。

上記(1)(2)(3)に記載した三つの指定管理事業の令和5年度における取り組み結果について、以下のとおりご報告いたします。

2 管理業務の実施状況

(1) 地域福祉情報バンク事業について

ア 情報の収集及び提供

(ア) 地域福祉情報提供サイトシステム「かわさき福祉情報サイトふくみみ」の管理・運営事業

市民が主体的に福祉サービスを選択できるようにすることを目的として、インターネットによる市民への福祉サービス情報発信システムの一元管理・運営を行いました。

(閲覧数 171,343 件)

a ボランティア・市民活動団体実態調査事業

「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に掲載するボランティア・市民活動団体の確認作業を行い、データベースの更新を実施しました。

b 地域福祉情報データベースの管理

川崎市内で活動する福祉に関する団体、福祉サービス、講師情報、福祉に関する図書等のデータベースの登録・更新作業を行い、市民にとって利用しやすいウェブサイトを目指し管理運営を行いました。また、登録団体から依頼されるイベントや各種研修等の情報、川崎市や厚生労働省などの最新ニュースを随時更新しました。(掲載依頼 105 件)

c 「かわさき福祉情報サイトふくみみ」のリニューアル

4 月から新ホームページの運用を開始。アクセシビリティの向上を図り、より見やすくスマートフォンからの閲覧にも対応可能となりました。



(イ) 情報発信事業

a かわさき福祉情報サイトふくみみ Facebook ページの運営

かわさき福祉情報サイトふくみみ Facebook にて、かわさき福祉情報サイトふくみみに掲載している研修・イベント情報や、助成金情報、地域福祉情報バンクの図書・DVD 情報等を発信し、利用の促進を図りました。

b 市社協ウェブサイトとの連携

ウェブサイトでは、迅速な情報配信を実現するために新着情報や災害関連最新情報について、関係機関と連携して更新作業を随時行いました。また、ページレイアウトや記事の見直し、リンクの再配置等についても適時行いウェブサイトの利便性の向上に努めました。

c 地域福祉情報バンク通信発行

地域福祉情報バンクの存在と機能を広く広報・PRするため、地域福祉情報バンク通信を年4回発行しました。

2023年春号、2023年夏号、2023年秋号、2024年冬号

(発行部数 季刊各7,000部/合計28,000部)

送付先：地域包括支援センター、障害者相談支援センター

市民館、図書館、区役所、地域見守り支援センター

ボランティア団体、図書利用登録者、各区社協

小学校、中学校、高校、大学、高齢者施設

障害者施設、病院、地域子育て支援センター

こども文化センター、

郵便局等(2,175か所7,000部×4回の28,000部送付)



(ウ) 地域福祉情報広報活動事業

a 「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に関する広報活動

- ・「かわさき福祉情報サイトふくみみ」

パンフレット（リーフレット）

：各種イベントや研修等を中心に609枚を配布。

- ・「かわさき福祉情報サイトふくみみ」広報物設置

：川崎駅アゼリア地下街広報スペース（2/16～2/22）



b その他の広報活動

- ・図書パンフレットの配布：新規利用者や来所者等に図書等の貸出についてパンフレットを渡してわかりやすく説明を行い、利用の促進を図りました。

- ・本会の研修部門（福祉人材バンク、成年後見支援センター等）と連携し、川崎市総合福祉センターを会場に実施される研修にて、地域福祉情報バンクのPRや研修開催主旨に合わせた図書・DVD等の情報提供を行い、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。

（「図書パンフレット」・「地域福祉情報バンク通信」・「かわさき福祉情報サイトふくみみパンフレット」・「専門相談のご案内チラシ」を609部配布）

- ・ボランティア交流室利用団体を対象に、「地域福祉情報バンク通信（各号×4回）」を配布し、新規登録者の獲得と貸出の増加につなげました。

- ・ボランティア活動振興センター入口に「おすすめ図書コーナー」、センター内に「新着図書コーナー」、「福祉マンガコーナー」を設置し、来館者への情報提供を行いました。

- ・地域福祉情報バンクのPRのため、クリアファイルを作成しイベント・研修等で配布しました。

- ・川崎市のホームページ、ビジュアルエリアにふくみみ紹介画像を掲載しました。

（2/11～3/18）

- ・ふくみみパンフレット・団体登録、講師登録のチラシをより見やすくわかりやすい内容にリニューアルしました



(エ) 情報提供事業

①図書資料、DVD等の閲覧・貸出サービスの実施

社会福祉・保健及び関連分野の図書資料等を収集し貸出を行いました。また、各区社会福祉協議会でも返却可能とし、利用者の利便性の向上を図りました。

- ・図書資料所有数：図書 4,906 冊／DVD・ビデオ 550 本
- ・新規登録者数：62 名
- ・図書貸出・閲覧者数：939 名
- ・利用者数：796 名
- ・貸出件数：1,717 件（図書 1,578 件／DVD・ビデオ 139 件）
- ・コピー機（一般利用）：48 人

②情報提供検索用パソコンの利用サービスの実施

市民の方が気軽にインターネットを通じて、地域情報を検索・閲覧ができるようにパソコンを設置し、情報収集の支援を行いました。

- ・利用者数：30 名

イ 福祉相談事業

(ア) 総合相談事業

a ふくし相談事業

- ・総合的な福祉の相談に対応できる職員体制を整え、健康・医療・生活・福祉に関する様々な相談に応じました。
- ・相談件数：401 件
- ・相談員の資質向上（研修会への参加）

b 地域福祉情報バンクへの相談

- ・福祉団体、地域情報、助成金等についての相談や、「かわさき福祉情報サイトふくみみ」に関する相談に応じました。
- ・相談件数：293 件

c 総合相談支援システムの運用

- ・総合相談支援システムの運用により、過去の相談対応における問題解決等のノウハウを蓄積し、相談対応の効率的かつ効果的な実施と適切な情報管理、事務処理を行いました。
- ・「社会福祉研修センター事業（川崎市福祉人材バンク）」と連携し、「地域福祉関係研修（ストレスマネジメント講座）」として、総合相談システムに蓄積した事例を活用した研修を実施しました。（7/6、7/7）
- ・ボランティア活動振興センター事業として、電話相談に焦点をあてた相談業務実務者の対応技術向上を目的とした「電話相談実務者研修」を実施し、32名の方が受講されました。（3/12）

d 総合相談事業における広報活動

- ・「地域福祉情報バンク通信」、「専門相談のご案内（後述）」、啓発グッズなど

(イ) 専門相談

- ・専門性の高い内容の相談を各専門職の相談員に対応いただきました。
- ・専門相談員：3名（精神科医師・弁護士・臨床心理士／各月2回）
- ・相談件数：107件

a 専門相談における広報活動

- ・「専門相談のご案内」チラシを配布

送付先：地域包括支援センター、障害者相談支援センター、市民館、図書館、区役所地域見守り支援センター、各区社協、老人福祉センター、いこいの家、高齢者施設、障害者施設、病院等（チラシ 815 か所 4,500部×4回の18,000部送付）

- ・地域福祉情報バンクミニチラシの作成・設置（156枚作成し、総合福祉センター各階および老人いこいの家に配布）



(2) 社会福祉研修センター事業について

地域包括ケア推進を目的に①地域包括ケア推進研修②地域課題研修③地域活動促進研修を実施いたしました。地域包括ケア推進研修は、互いに関心を持ち合い、多様性を知り理解する目的で「ネット・ゲーム依存の基礎知識」（2回）「はじめてのエンディングノート」「今すぐ始める生前整理」「発達障害（インクルシヴな社会づくり）」（2回）「ストレスマネジメント」「発達障害の理解と勘どころ」「認知症の理解」、7テーマ9回開催しました。

地域課題研修は、地域の課題に気づく意識、地域の中でつながりを持つ目的で「ゲートキーパー」（2回）「子育て応援」（2回）「児童虐待（子育てにやさしいまちづくり～inかわさき）」（2テーマ各1回）「知的障害（知ってほしいいろいろな特性）」、5テーマ8回開催しました。

地域活動促進研修は、地域活動の活性化、活動を広げる目的で「オンライン交流」（2回）「バルーンアート」（2回）「コミュニケーション術」（2回）「オンライン初歩」（2回）「オンライン企画」、5テーマ9回開催しました。

研修内容等の企画・実施にあたっては、十分な感染予防対策を講じるとともに、開催形式は

染状況を配慮した上でオンライン又は会場、オンラインと会場のハイブリット形式と柔軟に設定するとともに、可能な限り動画を公開し、視聴できることで参加促進に努めました。社会福祉協議会が運営する川崎市総合研修センターと連携し、ニーズ分析や検討を重ね、より市民の方へ効果的な研修を実施することに努めました。

(3) 施設・設備の利用提供事業（貸し館事業）について

令和4年度から長寿命化に伴う改修工事が行われる中で、猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症も5類へと移行され、利用状況も日常に戻りつつありますが、引き続き、総合福祉センター条例及び施行規則等に基づき、より安全で適正な施設・設備の利用提供事業の実施に努めました。

その結果、利用状況は大規模修繕工事に伴う、ホール、楽屋、大会議室を除く施設全体（第1・2・3会議室、和室）で、年間3,824件（利用区分）の貸出可能件数のうち1,207件の利用があり、稼働率は31.6%でした。（利用状況は、別紙資料「利用状況一覧表」を参照）

また、平成30年12月の利用において、再三の請求にも係わらず料金の未納が続いていたケースについて、内容証明の送付、川崎簡易裁判所における少額訴訟申立を行うことにより、令和5年度についても毎月未納料金の分割返済を行い、その大半を回収することができました。

(4) ニーズ把握方法と運営方針への反映及び地域との連携について

1階センターの受付窓口、エレベーター横と7階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めました。

施設管理について、その全ての職員の情報の共有を図るため導入したグループウェアを活用することにより、施設の管理運営の円滑化を図りました。

また、重要な案件や大きな問題については、本会内部で組織的に検討を行うとともに、川崎市所管課とも協議しながら、対応・改善に努めました。

地域との連携・交流等については、川崎市立中央支援学校「インターンシップ（校外授業）4月～3月の通年（週2日程度。時期・学年により異なる。）」に協力しました。

(5) 事業の周知方法について

センターのホームページで事業を広報するとともに、リーフレット（センター概要案内）、社会福祉研修センター事業の各種研修募集案内（チラシ）、地域福祉情報バンクの案内（ボランティア活動振興センターの事業案内リーフレット）、施設・設備の利用提供事業の案内（貸し館事業のパンフレット）を、区社会福祉協議会、区役所、公共施設、関係機関・団体などに配布して、センターの概要並びに事業の周知を図りました。

また、手続き書類のメール受付や問い合わせ等のメール対応の拡充による利便性の向上に努めました。

(6) 施設及び設備の維持・管理について

専門性を必要とする業務については、適性かつ効率的な管理運営が行えるように、専門業者に委託して維持・管理を行いました。

また、センターの安全性と快適性を高めるために、経年劣化した設備の故障・破損について優先順位を検討して修繕を実施しました。

① 外部委託した専門業務

※ [] 内は、再委託先

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
1	総合管理業務	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	セントラル総業(株)
2	舞台運営管理業務	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	(株)サイオー
3	保安警備及び駐車・駐輪場 管理業務	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	セントラル総業(株)
4	日常清掃	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	セントラル総業(株)
5	定期清掃	6・9・12・3月	セントラル総業(株) [有和商事]
6	害虫駆除	5・11月	セントラル総業(株) [(株)マルマ]
7	自家用電機工作物保守	毎 月	セントラル総業(株) [(財)関東電気保安協会]
8	舞台等照明設備保守	※大規模修繕工事のため 保守点検は行わない	(株)サイオー
9	舞台等音響・映像設備保守	※大規模修繕工事のため 保守点検は行わない	(株)サイオー
10	舞台機構設備保守	※大規模修繕工事のため 保守点検は行わない	(株)サイオー
11	ピアノ保守	※大規模修繕工事のため 保守点検は行わない	(株)サイオー
12	電気時計保守	12月	セントラル総業(株) [アイ通信工事(株)]
13	立体駐車場設備保守	毎 月	セントラル総業(株) [IHI運搬機械(株)]
14	自動ドア保守	6・10・2月	セントラル総業(株) [寺岡オートドアシステム(株)]

	業 務 内 容	実施月・実施期間	業者名
15	エレベーター保守	毎 月	セントラル総業(株) 〔(株)日立ビルシステム〕
16	シャッター保守	3 月	セントラル総業(株) 〔東洋シャッター(株)〕
17	非常用自家発電設備保守	5・11月	セントラル総業(株) 〔協同電機(株)〕
18	案内表示板保守	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	東横システム(株)
19	一般廃棄物・産業廃棄物収集 処理（蛍光灯類除く）	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	(有)国豊
20	産業廃棄物収集処理（蛍光灯 等ランプ類）	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	(株)早船
21	玄関マットリース	毎 月	(株)ユニマットライフ
22	パソコン	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日	東横システム(株)

② 施設・設備の主な修繕（税込み）

	修 繕 名	内 容	金額（円）	業者名
1	油圧高所作業台年次 点検	油圧高所作業台年次点検の実施	49,500 円	(有)スエ・ ハイドロリ ック
2	中央監視装置廻りバ ッテリー交換	経年劣化による地下 1 階中央監視装置 廻りのバッテリー交換	110,000 円	セントラル 総業（株）
3	物置移設復旧工事	センター外壁その他改修工事に伴う物 置の移設及び復旧工事の実施	137,500 円	ジ ェ ク ト （株）
4	1・3階正面入口扉 鍵交換	センター1.3 階正面入口扉鍵の動作不 良に伴うシリンダー交換	59,400 円	セントラル 総業（株）
5	漏電火災警報器 （LGR）改修工事	既設キュービクル漏電火災警報器 LGR 改修工事の実施	853,600 円	(株)丸井電 設
6	7階天井復旧工事	経年劣化による 7 階天井の復旧工事の 実施	90,200 円	若 井 工 業 （株）
7	低圧地絡継電器交換 工事立会い及び竣工 検査	低圧地絡継電器交換工事立会い及び竣 工検査の実施	49,500 円	セントラル 総業（株）
8	FCU更新工事	1階エレベーターホール FCU 整備工事 の実施	279,400 円	(株)研空社

9	3階ピット内排水管 修繕工事	3階ピット内排水管修繕工事の実施	271,700円	(株)研空社
10	地下1階洗面台交換 工事	経年劣化による地下1階洗面台交換工 事の実施	382,800円	(株)研空社
11	1階6・7階給水管 バルブ更新工事	経年劣化による1階6・7階給水管バ ルブ更新工事の実施	431,200円	(株)研空社
12	地下1階雨水配管修 繕工事	経年劣化による地下1階雨水配管修繕 工事の実施	785,400円	(株)研空社
13	駐車場シャッター修 理工事	経年劣化による1階駐車場シャッター 修繕工事の実施	1,848,000 円	セントラル 総業(株)
14	エレベーター防災キ ャビネット設置工事	館内エレベーター防災キャビネット設 置工事の実施	505,120円	(株)日立ビ ルシステム
15	1階事務室ブライ ンド交換改修	経年劣化による1階事務室ブライ ンド交換改修	193,600円	(株)大塚商 会
16	ホールシャッター修 理工事	経年劣化によるホールシャッター修理 工事の実施	1,485,000 円	セントラル 総業(株)

(7) 管理経費の縮減に対する取り組みについて

外部委託した主な専門業務については、経費の節減と業務の質の向上を目的として、入札にあたり、提案内容回答書の提出を求め、円滑な管理運営を行いました。

また、電気料金の高騰を受け、令和5年12月より電気の契約先を東京ガス(株)から東急パワーサプライ(株)へ変更し、電気料の削減を実現しました。

修繕については、軽微なものでセンターのスタッフが修理可能なものは、経費を節約するため極力自前で行うとともに、外部業者に修理を依頼する場合には、実績のある業者を選定し見積りを依頼して発注するなど、経費の縮減に努めました。具体的には、部品を購入して設備担当者がドアクローザーを取付けたり、冷温水機の設定温度を基準より2℃上げることにより光熱水費の節減に努めました。

(8) 個人情報の取り扱いについて

「川崎市個人情報保護条例」、「川崎市社会福祉協議会個人情報保護規程」及び「川崎市社会福祉協議会職員倫理綱領」に基づき、個人情報を適性かつ安全に取り扱い、適切な管理に努めました。

個人情報が記載されている書類等の取り扱いについては、決められた保管場所に保管するなど適正に管理し、不要になった場合は、シュレッダー等を使用して復元できない形にするなどして適切に処分しました。

(9) 安全管理への取り組みについて

①事故防止への取り組みと事故発生時の連絡報告体制

危険や異常を早期に察知できるように警備員による館内巡回を行うとともに、事故等の危険が予測される箇所については、改善、又は表示を貼付けるなどして注意喚起を促すなど、事件・事故の予防に努めました。

緊急連絡体制については、委託業務の責任者等を含めた有人・無人時における連絡体制を整え、連絡網を作成して関係者に配付し、周知を図りました。

大規模修繕工事の実施にあたっては、工事業者と綿密な調整を行い安全管理や注意喚起を行うとともに、会館と各工事業者とのスケジュール情報の共有により会館利用者に支障が生じないようにしました。

また、センター内の従事者及び市社協職員を対象に消防避難訓練を2回（令和5年4月26日（昼間）、令和5年10月25日（昼間））実施し、通報・避難誘導、緊急連絡・伝達、防火扉・消防設備（消火栓・消火器）操作等の訓練を行いました。

②発生した事故等の内容、件数、対応状況

事故・急病・怪我については、発見・確認次第、迅速な対応に努めました。物損事故・利用者等の体調不良による救急車の出動はともに0件でした。

(10) 利用者からの意見・要望等への対応について

3階ホワイエ、1階エレベーター横、7階ロビーに設置している「意見箱」やセンターホームページの「意見募集欄」などで、利用者の意見・要望の把握に努めるとともに、苦情受付の対応と体制を明示して苦情の解決に努めました。

意見箱に投函された「意見用紙」及び苦情受付の「苦情申出書」等により、次のとおりご意見等をいただき、適切に対応しました。

(意見等)

	日付	意見要旨	回答(対応)
1	令和5年12月4日 令和6年1月5日	和室の机が多すぎる。 なぜ和室がふれあいネット で取れないのか。	部屋の利用用途と異なった目的 で利用される方が多いため、受付に おいて、予め利用内容の確認を行っ ています。
2	令和6年1月9日	トイレが臭すぎる、利用す る気にならない。不快。	工事の影響もあると思われるた め、業者への周知徹底と合わせて、 設備担当者への現場確認、応急処置 に取り組みました。

3	令和6年1月11日	7階女子トイレ窓際のブラインドから作業員が見えて目が合っ て気持ち悪い。	工事足場の撤去により作業員と目が合うことはなくなりましたが、3月28日に目隠しを設置して対応しました。
---	-----------	---	---

3 収支状況

川崎市総合福祉センター収支状況（令和5年度）

（収入）

（単位：円）

科目	決算額(b)	摘要（積算内訳）
【収入】	169,533,068	
施設利用料金	1,901,806	施設・設備の利用提供事業利用料
指定管理料	167,294,101	光熱水費補填金等含む
その他	337,161	清涼飲料水自動販売機設置手数料等

（支出）

（単位：円）

科目	決算額(b)	摘要（積算内訳）
【支出】	168,643,357	
人件費	48,722,066	報酬・手当・法定福利費等
事務費	106,530,471	業務委託料・水道光熱費・修繕費等
事務消耗品費	2,191,058	センター管理業務消耗品,保健衛生品購入※器具什器費含む
水道光熱費	15,464,684	センター水道・電気・ガス料金
修繕費	7,531,920	補修工事他（指定管理修繕分）
業務委託料	71,533,761	センター管理業務・保守点検業務等委託料
その他経費	9,809,048	人事管理費・賃借料他
事業費	8,665,120	情報バンク事業・研修センター事業に係る経費
報償費	2,561,000	情報バンク専門員報酬・研修センター事業研修講師謝金
通信運搬費	730,745	情報バンク事業回線使用料、研修センター事業切手代等
委託料	859,918	情報バンク事業情報提供サイト保守・研修センターインスタグラム運用等
その他経費	4,513,457	広報費・印刷製本費他
消費税	4,725,700	

※利用者に良質な事業内容を安定的・継続的に提供するため、健全な経営基盤の確立に努めました。

4 まとめ

令和5年度は、各事業計画に沿って事業の一層の充実と新型コロナウイルス感染症5類移行後においても、感染対策を徹底した、利用しやすい施設の管理運営を目指して、「地域福祉情報バンク事業」、「社会福祉研修センター事業」、「施設・設備の利用提供事業」を着実に実施してまいりました。

「地域福祉情報バンク事業」では、情報収集・提供事業として「かわさき福祉情報サイトふくみみ」の情報を随時更新するとともに、掲載内容の充実を図りました。SNS等での情報取得が難しい方に対しても効果的な情報収集が行えるように新ホームページの運用を開始し、読み上げ機能の設置なども含めたアクセシビリティの向上を図りました。また、社協内の研修部門との連携、広報啓発グッズの活用などにより、広報の機会を増やす事で事業の利用促進につなげました。

福祉相談事業については、上記広報啓発グッズの活用などで、困ったときにすぐに相談できる相談窓口であることを積極的に周知し、寄せられた相談に対して「ふくし相談」「専門相談」の窓口の運用によって、きめ細やかな市民対応を行いました。

今後も福祉情報の発信の強化と相談事業の充実に努めてまいります。

「社会福祉研修センター事業」につきましては、これまでの研修の実績や受講者アンケートなどで把握した研修ニーズを踏まえ、幅広い世代の参加を促し、より有意義な研修を実施しました。今後も地域住民や福祉関係者が地域の福祉課題を把握し、解決に向けて取り組むことができるよう、引き続き効果的な研修を実施し、地域包括ケアシステム推進に繋がるよう、参加者の意識、意欲、知識の向上に努めてまいります。

「施設・設備の利用提供事業」につきましては、前年度から続いている大規模修繕工事の影響により、ホール、楽屋、大会議室の利用が休止している状況でありましたが、第1・2・3会議室、和室の利用につきましては、一部制限はあったものの、利用される方々が快適に利用いただけるよう、工事施工業者との綿密な情報共有を図ることにより、安心安全な施設利用に努めました。

この度の改修により、外壁やホール、和室、トイレなどがリニューアルされましたが、保守点検等でも指摘されていた修繕箇所についても、引き続き、川崎市と協議の上、段階的に実施していきます。

今後も引き続き、常に工夫や改善に取り組み、多様な市民活動の場をサポートするべく、努力してまいります。

本会は、地域住民の視点で民間の立場から福祉活動に取り組むための「第6期地域福祉活動計画」を令和6年度からスタートいたします。また、「組織経営計画」に基づき、ガバナンスの強化、財務規律の透明性及び公平性を維持しつつ、効果性と効率性を重視し、成果を基本とする経営を行うため、安定的な経営基盤の確立と、あるべき将来像の構築を目指します。

これからも川崎市と協力しながら、豊富な業務経験を活かし、指定管理事業を一層充実・発展させ、地域福祉の増進に貢献してまいります。

5 資料

(1) 地域福祉情報バンク事業資料・・・資料1

(2) 社会福祉研修センター事業資料・・・資料2

(3) 施設・設備の利用提供事業資料・・・資料3

令和5年度 地域福祉情報バンク 総合相談事業統計

1. 開設日数：246日 相談件数：694件 延べ相談時間：115時間24分

2. 相談件数の内訳（専門相談除く）

	相談延 件数	経路別			経歴別	
		電話	来所	その他	初回	継続
ふくし相談	401	344	50	7	197	204
情報バンク	293	182	30	81	166	127
合計	694	526	80	88	363	331

3. 相談者の内訳（専門相談除く）

	相談実 人数	性別			経歴別		居住区別									
		男	女	不詳	初回	継続	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳	
ふくし相談	224	73	148	3	194	30	17	10	36	37	22	24	27	11	40	
情報バンク	197	67	120	10	166	31	19	6	30	26	16	15	4	34	47	
合計	421	140	268	13	360	61	36	16	66	63	38	39	31	45	87	

4. 相談経路別所要時間（専門相談除く）

①電話（平均通話時間：10分）

	時間計	合計	所要時間									
			5分以内	～10分	～20分	～30分	～40分	～50分	～60分	～90分	～120分	121分～
ふくし相談	4,421分	344	163	54	57	40	12	10	4	2	1	1
情報バンク	732分	182	156	18	6	0	0	0	0	2	0	0
合計	5,153分	526	319	72	63	40	12	10	4	4	1	1

②来所（平均面談時間：23分）

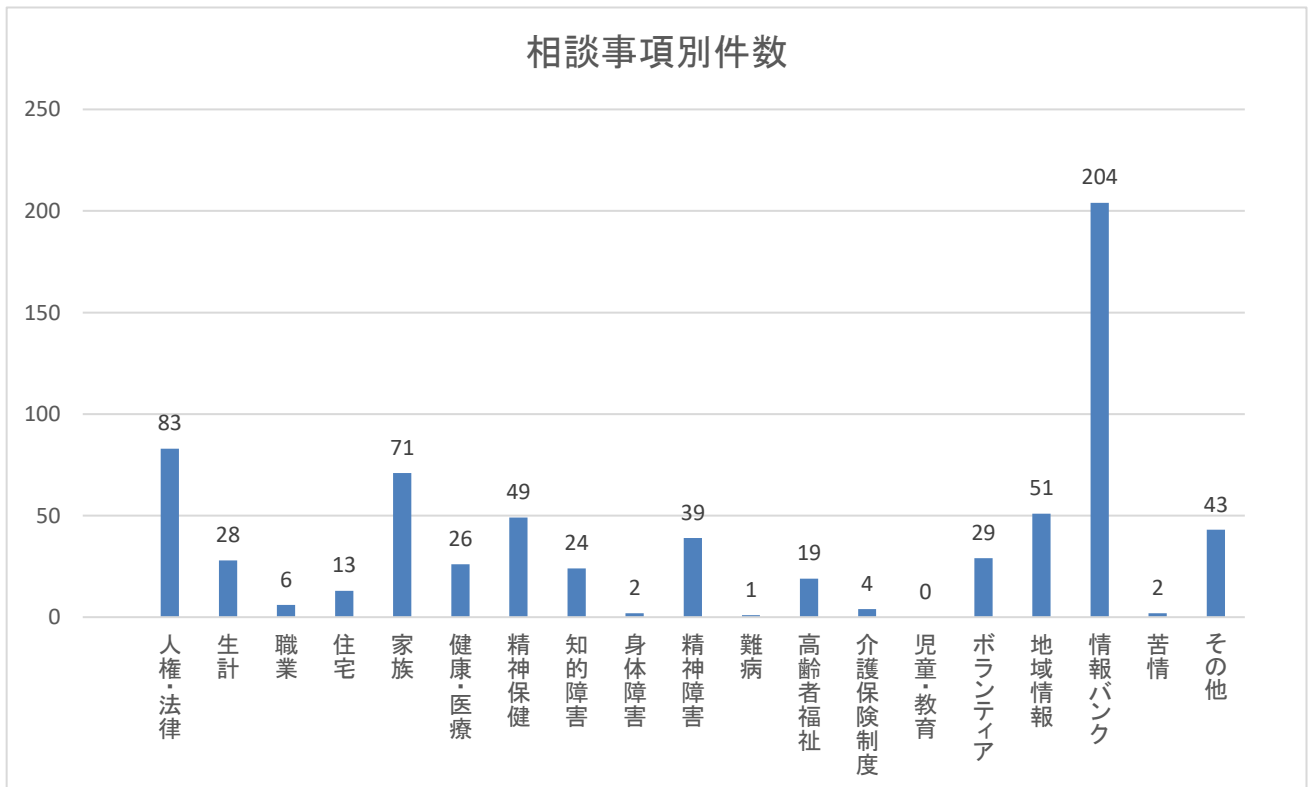
	時間計	合計	所要時間									
			5分以内	～10分	～20分	～30分	～40分	～50分	～60分	～90分	～120分	121分～
ふくし相談	1,359分	50	8	5	11	9	2	9	5	1	0	0
情報バンク	412分	30	16	4	2	2	4	1	1	0	0	0
合計	1,771分	80	24	9	13	11	6	10	6	1	0	0

③その他

	件数	訪問	FAX	手紙	e-mail	その他
ふくし相談	7	0	0	1	0	6
情報バンク	81	0	0	1	80	0
合計	88	0	0	2	80	6

5. 相談事項別件数と処理状況（専門相談除く）

相談事項	件数	%	種別			区別										処理状況				
			ふくし相談	障害者110番	情報バンク	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市外	不詳	解決	再来	専門相談	関係機関	傾聴	
人権・法律	83	12%	82	0	1	10	3	13	19	8	7	8	1	14	25	1	47	8	2	
生計	28	4%	28	0	0	8	4	2	4	4	4	1	1	0	14	0	1	5	8	
職業	6	1%	6	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0	1	1	3	
住宅	13	2%	12	0	1	0	1	3	3	0	0	2	1	3	3	3	4	2	1	
家族	71	10%	71	0	0	1	1	16	16	6	10	15	1	5	20	4	34	1	12	
健康・医療	26	4%	24	0	2	1	1	5	7	4	1	1	0	6	11	3	3	5	4	
精神保健	49	7%	48	0	1	2	0	11	7	3	6	15	0	5	13	2	28	1	5	
知的障害	24	3%	24	0	0	0	0	0	0	0	4	19	0	1	9	0	1	3	11	
身体障害	2	0%	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
精神障害	39	6%	39	0	0	1	1	4	4	2	10	9	3	5	7	1	16	0	15	
難病	1	0%	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
高齢者福祉	19	3%	17	0	2	0	0	2	4	2	1	4	0	6	4	2	3	7	3	
介護保険制度	4	1%	3	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4	0	0	0	0	
児童・教育	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ボランティア	29	4%	5	0	24	5	0	1	1	2	4	0	5	11	25	1	0	3	0	
地域情報	51	7%	10	0	41	6	3	14	5	2	4	3	7	7	44	3	0	4	0	
情報バンク	204	29%	8	0	196	23	3	38	30	15	12	2	44	37	190	9	2	2	1	
苦情	2	0%	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	
その他	43	6%	21	0	22	5	2	8	4	4	1	2	5	12	22	4	4	7	6	
合計	694	100%	401	0	293	64	20	119	106	53	65	82	69	116	394	33	144	51	72	



6. 専門相談

相談開設日数 ※1	72
-----------	----

相談件数	107
------	-----

相談方法 ※2	来所	電話	職員による相談
	103	1	3

相談内容内訳	遺産相続	消費者被害	権利擁護	労働問題	医療過誤	事件・事故	借金	離婚・家族	住宅問題	病院・施設	SV・DV	その他	合計
弁護士	14	1	1	5	3	0	3	11	5	0	1	7	51

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV	多問題	その他	合計
医師 (精神科)	0	3	1	7	10	1	0	2	1	0	0	0	25

相談内容内訳	病院・施設	家族関係	対人関係	統合失調症	気分障害	依存症	ひきこもり	認知症	性格・心	SV・DV	多問題	その他	合計
学識経験者 (臨床心理士)	0	13	7	0	2	0	0	1	3	4	0	1	31

※1 弁護士・医師（精神科）・学識経験者（臨床心理士）はそれぞれ月2回の相談日を設定しています。

※2 職員による相談件数は、相談員のスーパービジョン・コンサルテーションも含まれています。

令和5年度 川崎市総合福祉センター社会福祉研修センター事業

① 地域包括ケア推進研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
6月7日	「保護司の活動を理解してみませんか」 講師：保護司、保護観察官、川崎市地ケア職員	福祉パル たかつ研修室	19名	19名	
7月6日・ 7日	「ストレスマネジメント」 ※地域情報バンクとの連携研修 講師：田園調布学園大学名誉教授 公認心理師 荒木 乳根子 氏	福祉パル たかつ研修室	6日 15名 7日 16名	6日 12名 7日 17名	
9月4日	今から始める終活研修① 「遺言書づくり」 講師：株式会社女性相続サポート 税理士 高山 亜由美 氏 行政書士 中田 多恵子 氏	福祉パル たかつ研修室	20名	16名	
9月5日	今から始める終活研修② 「生前整理と遺品整理」 講師：株式会社ワズライフ 遺品整理士/遺品査定士 上野 貴子 氏	福祉パル たかつ研修室	25名	18名	
12月12日 午前 午後	「～発達障害の息子を育てながら～ 「多様性」のある社会について思うこと」 講師：くるみ～来未～理事長 太田 修嗣 氏	福祉パル なかはら 研修室	午前： 会場 21名 午後： オンライン 12名	午前： 会場 20名 午後： オンライン 11名	
2月13日・ 16日	「インターネット・スマホ・ゲーム との上手な付き合い方」 講師：久里浜医療センター 精神科診療部長 松崎 尊信 氏	川崎市総 合福祉セ ンター研 修室	13日： 会場 16名 16日： オンライン 13名	13日： 会場 14名 16日： オンライン 11名	

②

地域課題研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
5月24日・ 25日	「認知症サポーター養成講座」 講師：認知症キャラバンメイト (地域包括支援センター職員)	福祉パル たかつ研 修室	24日 45名 25日 35名	24日 21名 25日 23名	
8月2日・ 3日	「ドローン体験交流会」 講師：NPO法人 はたらくらす	川崎市総 合福祉セ ンター (第3会議室)	2日(3回) 112名 3日(3回) 96名	2日(3回) 27名 3日(3回) 27名	
9月26日	「認知症ケア研修」 講師：川崎市立井田病院 認知症看護認定看護師 篠原 悦子 氏	福祉パル なかはら 研修室	30名	25名	
10月31日	「ゲートキーパー」 講師：・社会福祉法人川崎いのち の電話 ・川崎市健康福祉局職員	福祉パル なかはら 研修室	21名	17名	
11月24日	「こどもが地域社会で育まれる ために」～川崎市における家庭支援 の取り組み～ 講師： ・至誠館さくら乳児院職員 ・はくさん児童家庭支援センター職員 ・母子生活支援施設 ヒルズすえなが職員 ・川崎市こども未来局職員	福祉パル なかはら 研修室	20名	19名	令和6 年度配 信予定
12月21日	「ヤングケアラー理解研修」 ～ヤングケアラー当事者の人生 から考える支援のあり方～ 講師：一般社団法人 ヤングケアラー協会 事務局長 小林 鮎奈 氏	高津区市 民館第6 会議室	34名	28名	
1月22日	「ジェンダー理解研修」 講師：ジェンクロス・カワサキ	川崎市総 合福祉セ ンター研 修室	18名	17名	

③ 地域活動促進研修

実施日	内容	会場	申込者数	受講者数	動画再生
6月6日・15日	「オンライン初歩研修」 講師：NPO 法人 川崎スマートライフ推進会 理事長 菰田 浩氏	福祉パルた かつ研修室	32名 (両日参加研修)	6日： 会場17名 15日： オンライン 13名	274 回
7月25日	「よしもとスポーツ ：Let'sレクリエーション」 講師：吉本興業 ・ジョイマン ・アホマイルド坂本 ・バイク川崎バイク (BKB)	川崎市総合 福祉センター (第1・2・3会議室)	81名	42名	
9月12日 13日	「スマホ活用で健康寿命を延ばす！」 講師：株式会社Moff 土田 泰広氏 株式会社SOERUTE 山上 剛史氏	福祉パルた かつ研修室	12日 5名 13日 6名	12日 16名 13日 7名	
10月24日 午前 午後	「初級者向けスマホ活用講座」 講師：NPO 法人 川崎スマートライフ推進会 理事長 菰田 浩氏	福祉パルな かはら研修 室	午前 12名 午後 11名	午前 8名 午後 9名	
2月8日	「オンライン企画研修」 講師：NECプロボノ倶楽部	川崎市総合 福祉センター 研修室	18名	17名	令和6 年度配 信予定
3月7日	「はじめての動画編集」 講師：NECプロボノ倶楽部	川崎市総合 福祉センター 研修室	53名	18名	令和6 年度配 信予定

●令和5年度 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら) 施設・設備の利用提供事業 利用状況一覧表 資料3

施設	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均稼働率
	ホール	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
稼働率%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
第1楽屋	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0% (0 / 0)
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	稼働率%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
第2楽屋	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0% (0 / 0)
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	稼働率%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
第3楽屋	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0% (0 / 0)
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	稼働率%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
大会議室	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0% (0 / 0)
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	稼働率%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
第1会議室	件数	26	25	19	22	34	31	28	29	27	42	23	26	332	33.9% (332 / 980)
	人数	192	192	154	185	274	248	233	238	205	256	205	229	2,611	
	稼働率%	31.7%	28.1%	22.1%	25.9%	40.0%	36.0%	31.5%	33.7%	34.6%	55.3%	33.8%	37.1%		
第2会議室	件数	37	35	30	29	33	30	42	29	30	29	33	33	390	39.9% (390 / 978)
	人数	229	215	164	168	214	192	246	152	165	184	198	234	2,361	
	稼働率%	45.1%	39.3%	34.9%	35.4%	38.4%	34.9%	47.2%	33.7%	38.5%	38.2%	48.5%	47.1%		
第3会議室	件数	18	19	19	18	15	24	24	28	19	21	17	23	245	25.2% (245 / 973)
	人数	411	491	486	448	547	560	676	781	558	793	505	962	7,218	
	稼働率%	22.0%	21.3%	22.4%	21.2%	17.6%	27.9%	27.3%	34.1%	24.4%	27.6%	25.8%	32.4%		
和室	件数	17	14	26	26	16	23	24	0	21	33	18	22	240	26.9% (240 / 893)
	人数	162	120	250	248	162	217	227	0	195	343	175	220	2,319	
	稼働率%	19.5%	15.6%	29.9%	29.9%	18.4%	26.4%	27.6%	0.0%	28.0%	43.4%	29.0%	32.4%		

〈楽屋を除く施設の利用状況（ホール、大会議室、第1・2・3会議室、和室）〉

合計	件数	98	93	94	95	98	108	118	86	97	125	91	104	1,207	31.6% (1,207 / 3,824)
	人数	994	1,018	1,054	1,049	1,197	1,217	1,382	1,171	1,123	1,576	1,083	1,645	14,509	
	稼働率%	29.4	26.1	27.3	28.0	28.6	31.3	33.4	33.9	31.4	41.1	34.5	37.3		
	楽屋を除く利用可能区分数	333	357	344	339	343	345	353	254	309	304	264	279	3,824	

※稼働率(%)は、件数(利用された区分数)を利用可能区分数で除した割合です。区分は午前・午後・夜間を各1区分とする。人数は申込み時の申請利用人数です。